



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 横井 宏紀

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,209	△24.3	△72	—	80	△94.6	29	△97.3
2020年3月期第2四半期	18,783	14.7	1,195	20.8	1,496	5.7	1,092	6.6

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 △444百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 216百万円 (△39.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	2.16	—
2020年3月期第2四半期	80.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	46,440	31,051	62.4	2,133.91
2020年3月期	47,320	31,867	63.0	2,194.75

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 28,991百万円 2020年3月期 29,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	28.00	48.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	23.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,870	△17.2	280	△87.4	500	△81.6	130	△93.2	9.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	13,900,065 株	2020年3月期	13,900,065 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	314,118 株	2020年3月期	322,818 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	13,579,732 株	2020年3月期2Q	13,577,341 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界及び日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対応する為に実施した外出抑制や営業活動制限導入等により、大規模な財政出動と金融緩和を実施するも成長率は急激な減速を余儀なくされました。新型コロナウイルスの感染症拡大は現在も続いておりますが、最悪期は脱し回復局面に入っており、当社グループの主要顧客である日系自動車メーカー業界においても、メーカーによって多少傾向に差はありますが5月を底に稼働率は回復傾向にあります。

このような環境下、売上高は前年同期比24.3%減の14,209百万円となりました。営業利益は、売上高の減少が響き72百万円の損失（前年同期は1,195百万円の利益）、経常利益は前年同期比94.6%減の80百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比97.3%減の29百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①日本

6月以降回復傾向にあるものの新型コロナウイルスの感染症拡大による顧客の稼働率低下の影響で売上高は前年同期比26.1%減の6,495百万円、セグメント利益は215百万円の損失（前年同期は470百万円の利益）となりました。

②南北アメリカ

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で業績が悪化しているもののアメリカ、メキシコは6月以降急激に回復しております。ブラジルは感染拡大が継続している影響もあり顧客の稼働率回復が多少遅れております。その結果、売上高は前年同期比21.5%減の4,412百万円、セグメント利益は前年同期比75.1%減の128百万円となりました。

③中国

新型コロナウイルス感染症拡大による影響はありましたが、4月以降は前年並みまで回復しております。その結果、売上高は前年同期比15.4%減の1,780百万円、セグメント利益は前年同期比23.3%減の87百万円となりました。

④東南アジア／インド

自動車取得時にかかる販売サービス税の減税対策を行っているマレーシアを除き、新型コロナウイルス感染症拡大後の回復に時間を要しております。その結果、売上高は前年同期比32.9%減の1,521百万円、セグメント利益は前年同期比58.7%減の117百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、46,440百万円となり、前連結会計年度末に比べ880百万円減少しました。主な要因は、「現金及び預金」が470百万円、投資その他の資産の「その他」が462百万円、「投資有価証券」が451百万円増加したものの、「受取手形及び売掛金」が1,077百万円、「有形固定資産」が598百万円、「無形固定資産」が420百万円減少したことによります。

負債は、15,388百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円減少しました。主な要因は、「短期借入金」が1,727百万円増加したものの、「支払手形及び買掛金」が825百万円、「長期借入金」が409百万円、「未払金」が273百万円、「未払法人税等」が78百万円、「退職給付に係る負債」が57百万円、「繰延税金負債」が42百万円、流動負債の「その他」が41百万円、固定負債の「その他」が29百万円減少したことによります。

純資産は、31,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ816百万円減少しました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」が572百万円増加したものの、「為替換算調整勘定」が1,056百万円変動、「利益剰余金」が341百万円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は7,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ470百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により103百万円の収入超過となりました。これは、仕入債務の減少額757百万円、法人税等の支払額213百万円、たな卸資産の増加額186百万円、持分法による投資利益97百万円等がありましたが、売上債権の減少額949百万円、減価償却費491百万円等の収入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により267百万円の支出超過となりました。これは、投資有価証券の売却による収入194百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出391百万円、無形固定資産の取得による支出51百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により925百万円の収入超過となりました。これは、長期借入金の返済による支出425百万円、配当金の支払額380百万円等がありましたが、短期借入金の増加額1,746百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年9月15日発表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,160	7,630
受取手形及び売掛金	6,636	5,558
商品及び製品	1,743	1,696
原材料及び貯蔵品	2,589	2,588
その他	486	452
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	18,603	17,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,760	4,352
機械装置及び運搬具（純額）	1,489	1,407
工具、器具及び備品（純額）	482	431
土地	5,162	5,134
リース資産（純額）	89	78
建設仮勘定	101	82
有形固定資産合計	12,086	11,488
無形固定資産		
のれん	2,167	2,009
顧客関連資産	1,962	1,878
技術資産	647	613
商標権	568	538
その他	608	494
無形固定資産合計	5,954	5,533
投資その他の資産		
投資有価証券	9,567	10,019
保険積立金	656	675
長期預金	1	1
退職給付に係る資産	6	6
繰延税金資産	151	47
その他	307	770
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	10,676	11,505
固定資産合計	28,717	28,527
資産合計	47,320	46,440

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,705	2,880
短期借入金	2,344	4,072
リース債務	28	26
未払金	890	617
未払消費税等	117	95
未払法人税等	251	172
賞与引当金	396	409
役員賞与引当金	5	5
その他	1,152	1,111
流動負債合計	8,893	9,389
固定負債		
長期借入金	3,646	3,237
リース債務	69	59
繰延税金負債	1,166	1,123
役員退職慰労引当金	147	135
退職給付に係る負債	1,221	1,163
長期預り保証金	182	182
資産除去債務	16	16
その他	109	79
固定負債合計	6,559	5,998
負債合計	15,453	15,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,014	4,014
利益剰余金	24,577	24,236
自己株式	△427	△415
株主資本合計	32,414	32,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	731	1,304
為替換算調整勘定	△3,261	△4,317
退職給付に係る調整累計額	△86	△80
その他の包括利益累計額合計	△2,615	△3,093
非支配株主持分	2,069	2,060
純資産合計	31,867	31,051
負債純資産合計	47,320	46,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	18,783	14,209
売上原価	12,859	9,906
売上総利益	5,923	4,303
販売費及び一般管理費	4,728	4,375
営業利益又は営業損失(△)	1,195	△72
営業外収益		
受取利息	25	16
受取配当金	47	45
持分法による投資利益	274	97
その他	22	59
営業外収益合計	369	218
営業外費用		
支払利息	16	23
為替差損	40	20
その他	12	19
営業外費用合計	68	64
経常利益	1,496	80
特別利益		
投資有価証券売却益	—	41
特別利益合計	—	41
税金等調整前四半期純利益	1,496	122
法人税等	316	25
四半期純利益	1,179	96
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	67
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,092	29

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	1,179	96
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△200	572
為替換算調整勘定	△390	△871
退職給付に係る調整額	0	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△373	△247
その他の包括利益合計	△963	△540
四半期包括利益	216	△444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174	△448
非支配株主に係る四半期包括利益	42	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,496	122
減価償却費	502	491
のれん償却額	94	91
持分法による投資損益 (△は益)	△274	△97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32	13
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	△47
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11	△11
受取利息及び受取配当金	△72	△61
支払利息	16	23
売上債権の増減額 (△は増加)	380	949
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81	△186
仕入債務の増減額 (△は減少)	△223	△757
その他	△492	△272
小計	1,547	260
利息及び配当金の受取額	106	83
利息の支払額	△18	△27
法人税等の支払額	△231	△213
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,403	103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	156	10
投資有価証券の取得による支出	△6	△4
投資有価証券の売却による収入	—	194
有形固定資産の取得による支出	△283	△391
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△16	△51
その他	△304	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△464	△267
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1	1,746
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△438	△425
配当金の支払額	△339	△380
リース債務の返済による支出	△55	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△733	925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72	△284
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	134	477
現金及び現金同等物の期首残高	6,947	7,150
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△6
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,081	7,620

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症に対し、今後の広がり方や収束時期を予測することは困難であります。当社グループでは、外部の情報源に基づく情報等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響が2021年3月期の一定期間にわたり継続すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,790	5,620	2,103	2,268	18,783	—	18,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	436	1	4	33	476	△476	—
計	9,227	5,621	2,108	2,302	19,259	△476	18,783
セグメント利益	470	514	114	284	1,384	△188	1,195

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△188百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が2百万円、QualiChem社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△192百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,495	4,412	1,780	1,521	14,209	—	14,209
セグメント間の内部 売上高又は振替高	282	1	—	39	323	△323	—
計	6,777	4,413	1,780	1,560	14,532	△323	14,209
セグメント利益又は 損失(△)	△215	128	87	117	117	△190	△72

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△190百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△2百万円、QualiChem社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△187百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。